

令和5年度「県民Webアンケート」 第4回 医薬品の服用に関する意識調査

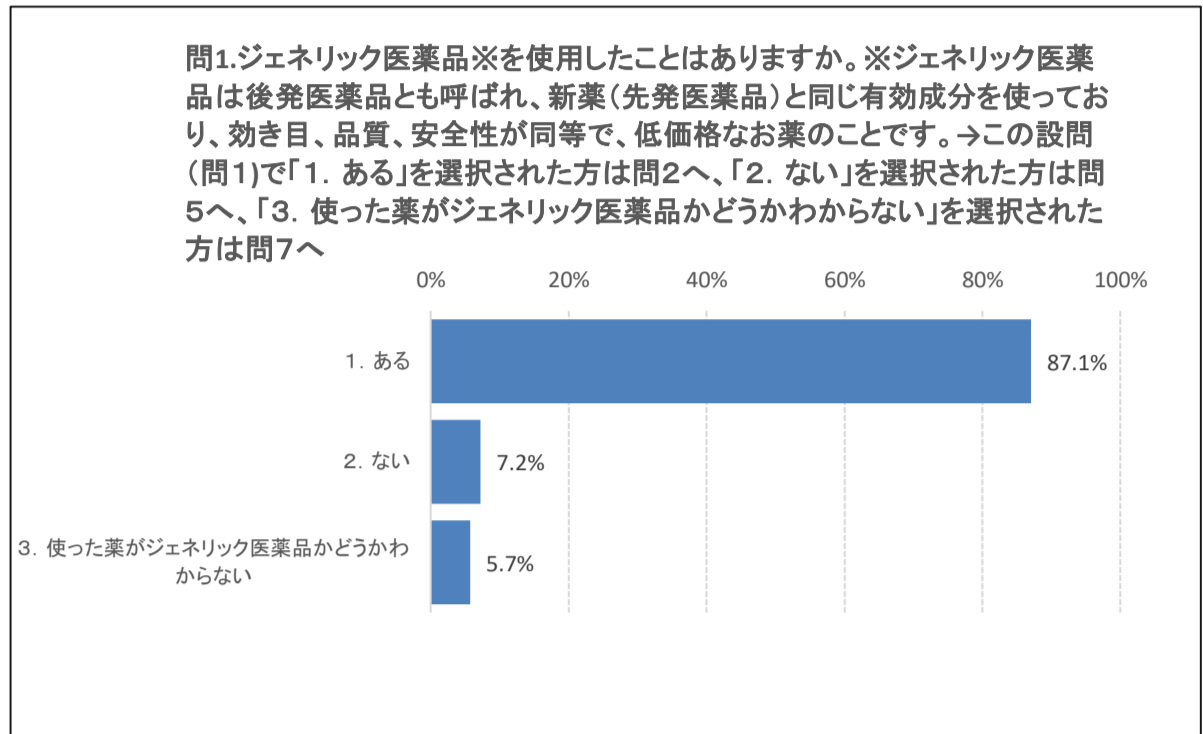
○実施期間 2023/8/23～2023/8/29

○アンケート会員数 294名 回収率 263件 (89.5%)

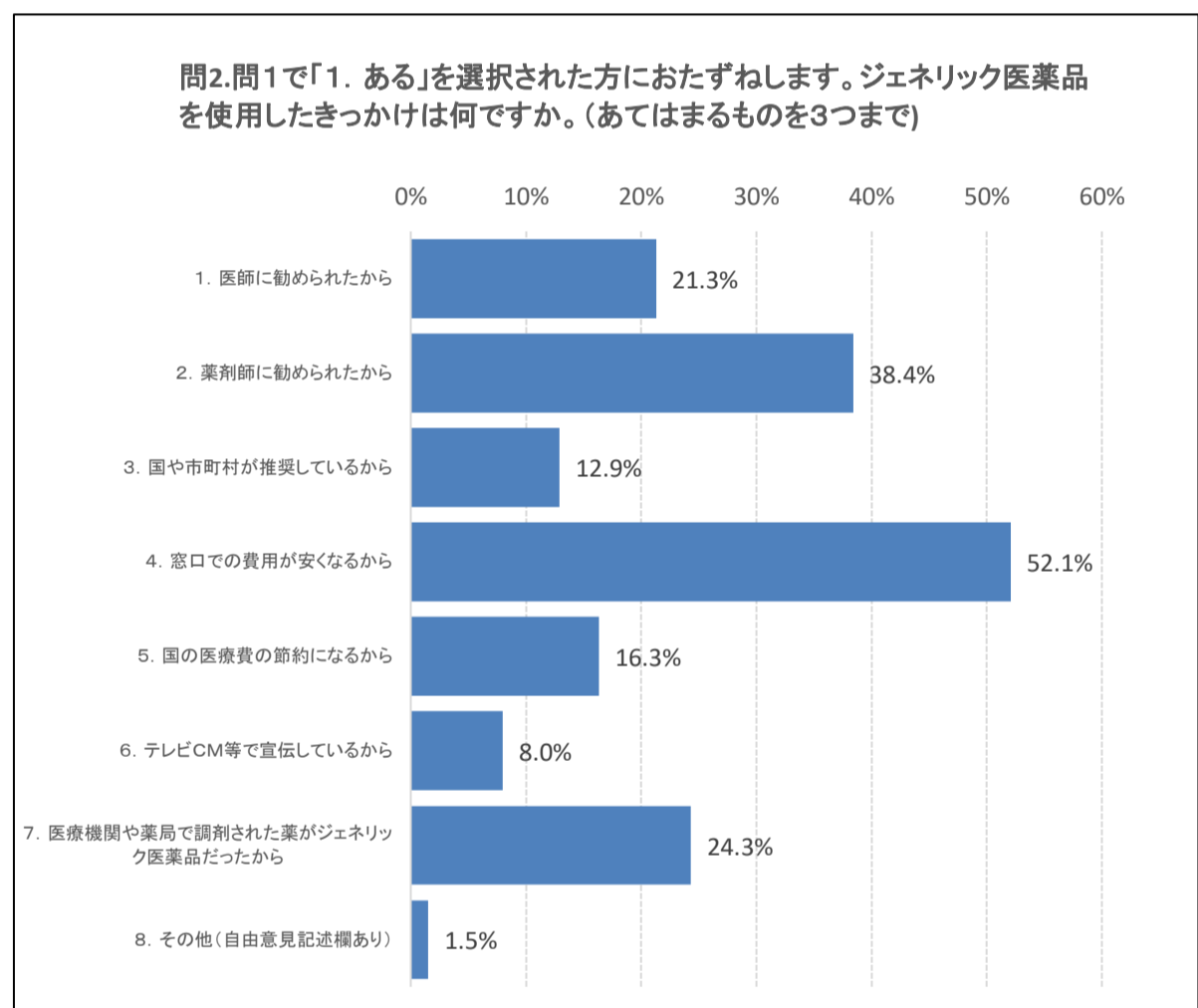
○医療費の適正化における重要施策の一つとして、ジェネリック医薬品の推進及び医薬品の適正使用が掲げられています。そのため、ジェネリック医薬品の使用経験や重複・多剤投薬にかかる県民の意識調査を行い、今後の施策推進における参考指標として活用します。

奈良県が策定した第3期医療費適正化計画の計画期間が平成30年度から令和5年度までの6年間であることから、経年比較を行うため、昨年度と同テーマのアンケートを実施します。

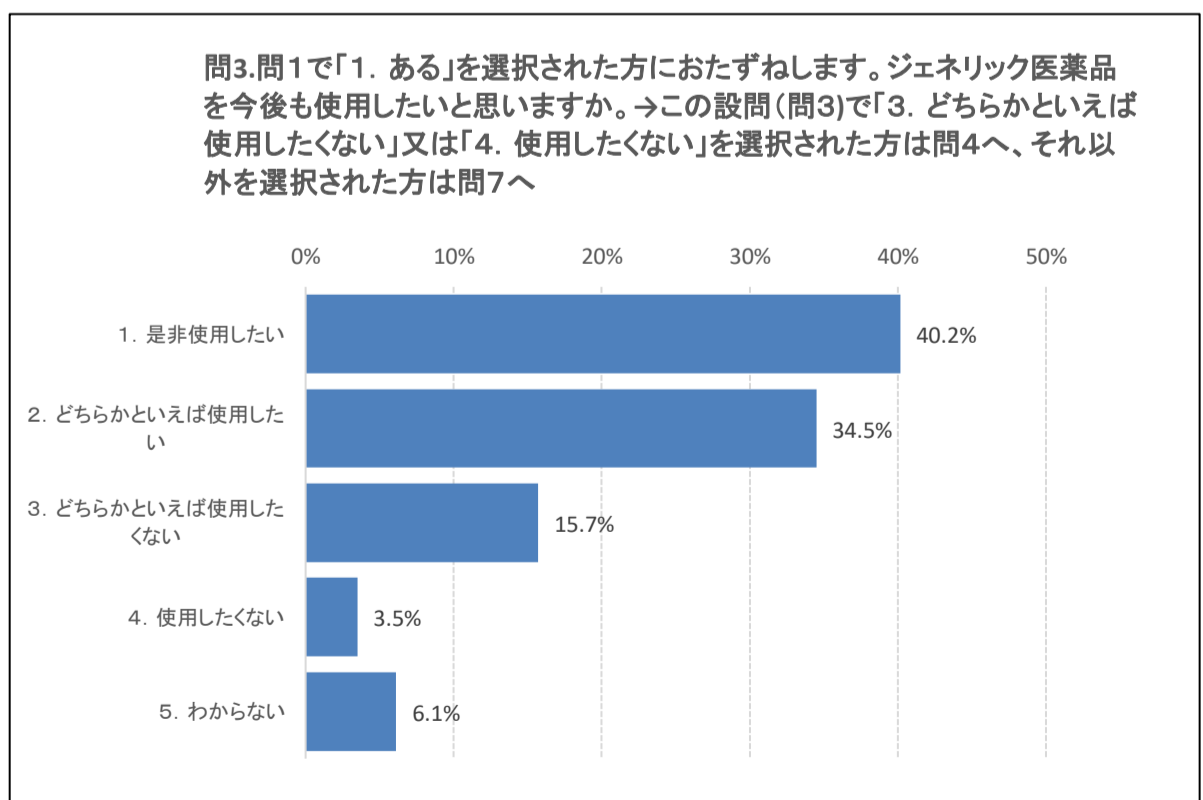
問1.ジェネリック医薬品※を使用したことはありますか。※ジェネリック医薬品は後発医薬品とも呼ばれ、新薬(先発医薬品)と同じ有効成分を使っており、効き目、品質、安全性が同等で、低価格なお薬のことです。→この設問(問1)で「1. ある」を選択された方は問2へ、「2. ない」を選択された方は問5へ、「3. 使った薬がジェネリック医薬品かどうかわからない」を選択された方は問7へ	回答数	回答対象者	比率
1. ある	229	263	87.1%
2. ない	19		7.2%
3. 使った薬がジェネリック医薬品かどうかわからない	15		5.7%
総計	263		100.0%



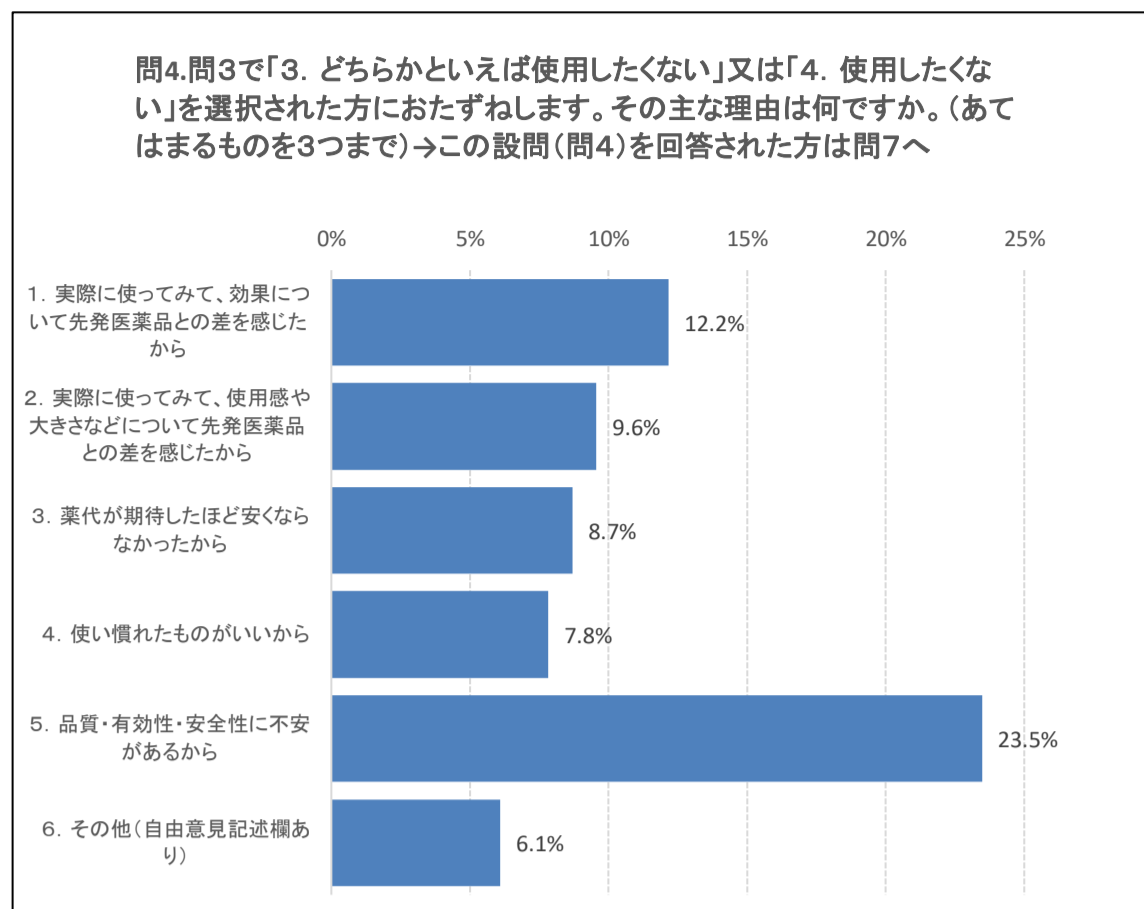
問2.問1で「1. ある」を選択された方におたずねします。ジェネリック医薬品を使用したきっかけは何ですか。(あてはまるものを3つまで)	回答数	回答対象者	比率
1. 医師に勧められたから	56	263	21.3%
2. 薬剤師に勧められたから	101		38.4%
3. 国や市町村が推奨しているから	34		12.9%
4. 窓口での費用が安くなるから	137		52.1%
5. 国の医療費の節約になるから	43		16.3%
6. テレビCM等で宣伝しているから	21		8.0%
7. 医療機関や薬局で調剤された薬がジェネリック医薬品だったから	64		24.3%
8. その他(自由意見記述欄あり)	4		1.5%
総計	460	—	



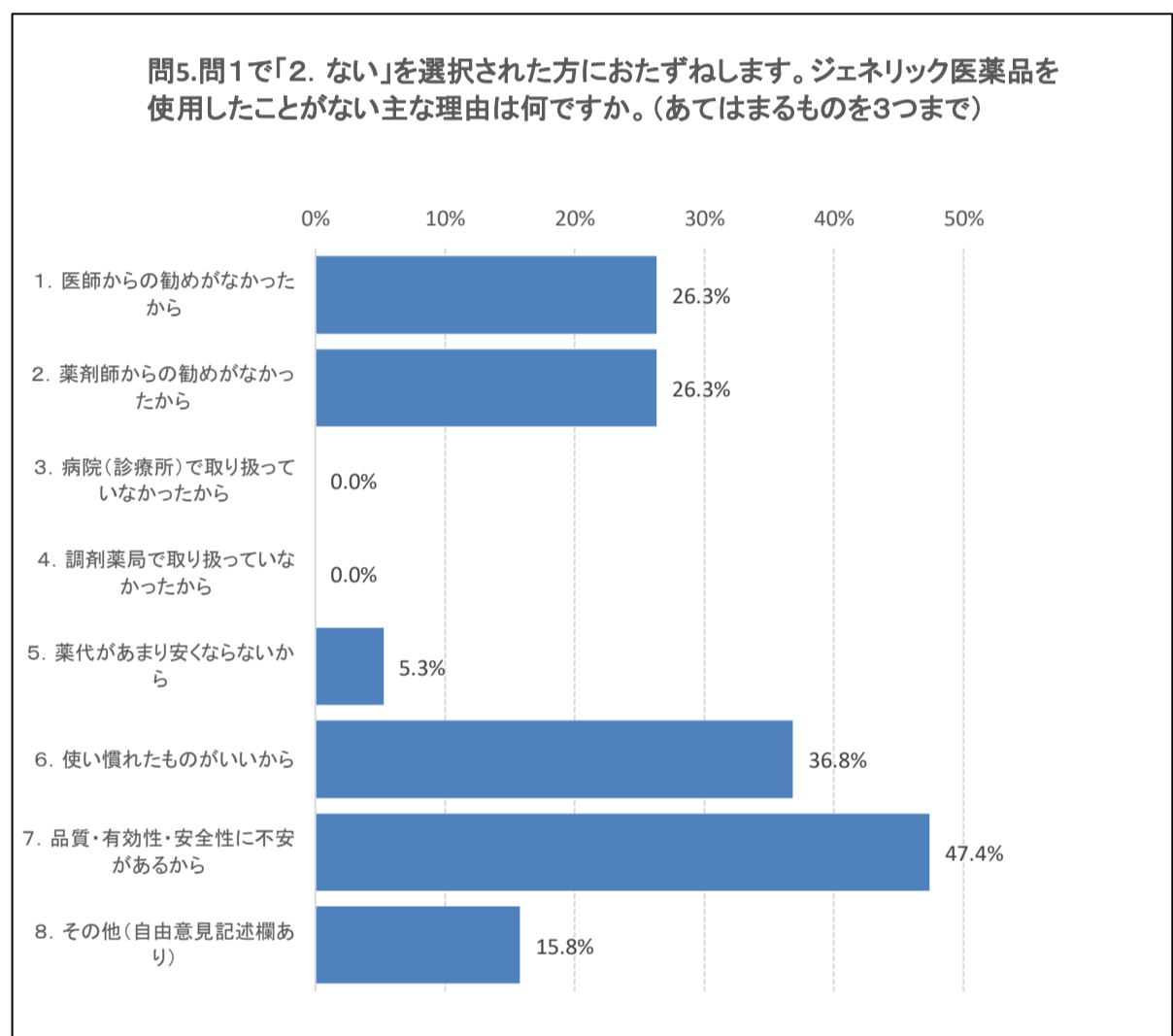
問3.問1で「1. ある」を選択された方におたずねします。ジェネリック医薬品を今後も使用したいと思いますか。→この設問(問3)で「3. どちらかといえば使用したくない」又は「4. 使用したくない」を選択された方は問4へ、それ以外を選択された方は問7へ	回答数	回答対象者	比率
1. 是非使用したい	92	229	40.2%
2. どちらかといえば使用したい	79		34.5%
3. どちらかといえば使用したくない	36		15.7%
4. 使用したくない	8		3.5%
5. わからない	14		6.1%
総計	229	—	100.0%



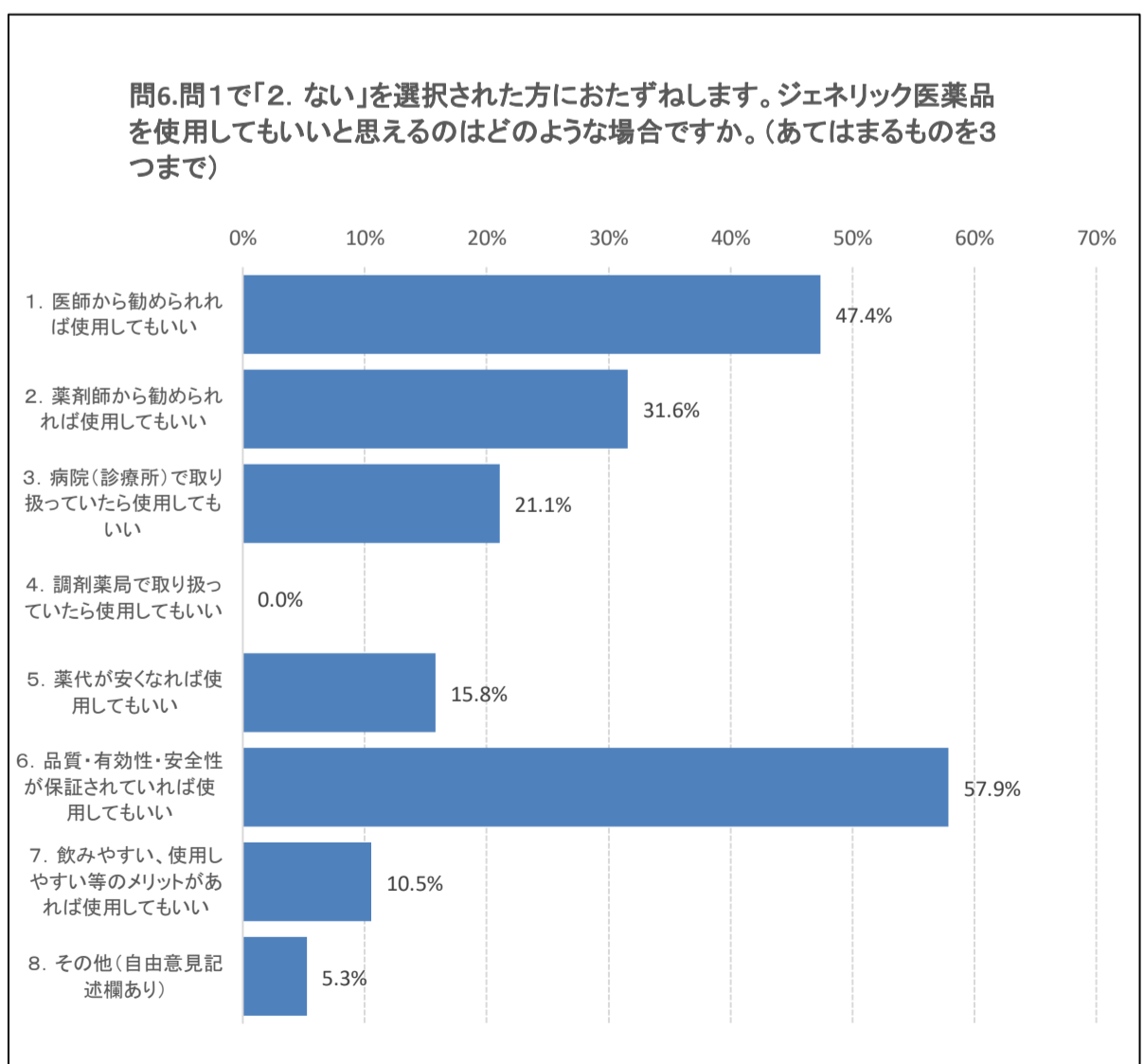
問4.問3で「3. どちらかといえば使用したくない」又は「4. 使用したくない」を選択された方におたずねします。その主な理由は何ですか。(あてはまるものを3つまで)→この設問(問4)を回答された方は問7へ	回答数	回答対象者	比率
1. 実際に使ってみて、効果について先発医薬品との差を感じたから	14	115	12.2%
2. 実際に使ってみて、使用感や大きさなどについて先発医薬品との差を感じたから	11		9.6%
3. 薬代が期待したほど安くなかったから	10		8.7%
4. 使い慣れたものがないから	9		7.8%
5. 品質・有効性・安全性に不安があるから	27		23.5%
6. その他(自由意見記述欄あり)	7		6.1%
総計	78		-



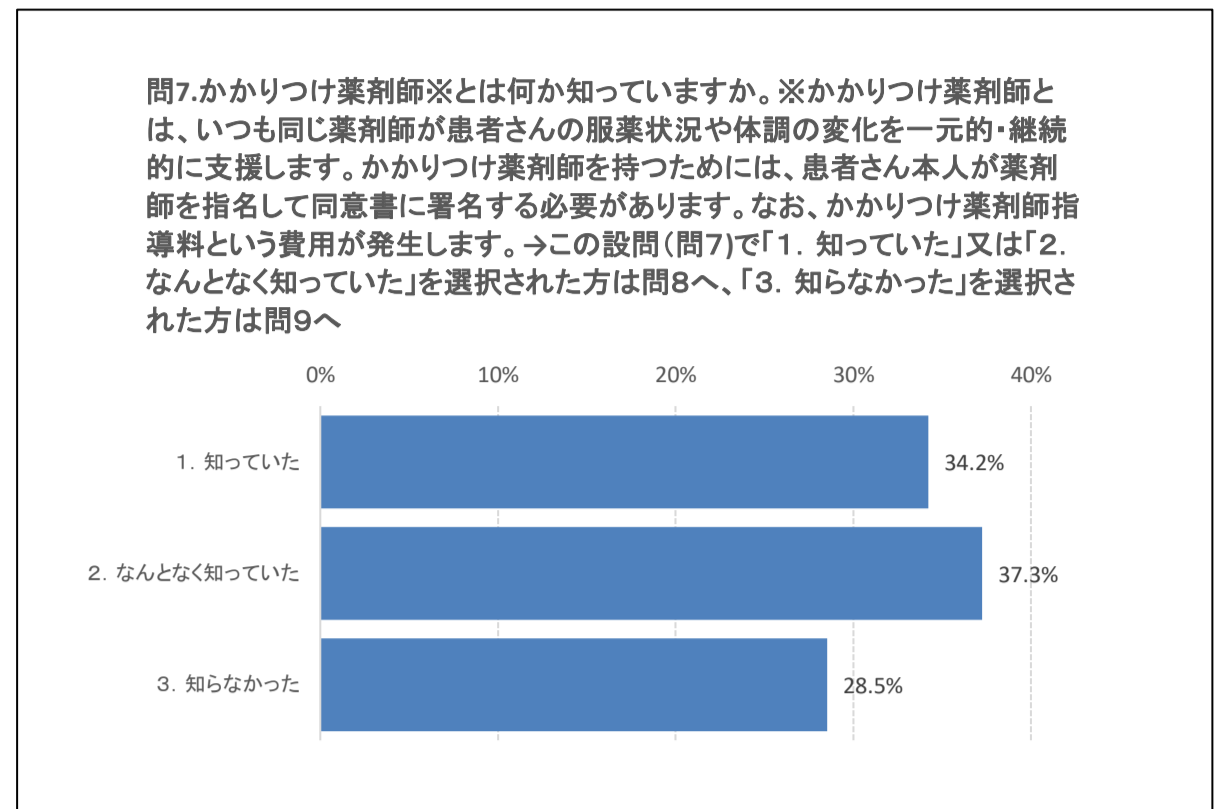
問5.問1で「2. ない」を選択された方におたずねします。ジェネリック医薬品を使用していない主な理由は何ですか。(あてはまるものを3つまで)	回答数	回答対象者	比率
1. 医師からの勧めがなかったから	5	19	26.3%
2. 薬剤師からの勧めがなかったから	5		26.3%
3. 病院(診療所)で取り扱ってなかったから	0		0.0%
4. 調剤薬局で取り扱ってなかったから	0		0.0%
5. 薬代があまり安くないから	1		5.3%
6. 使い慣れたものがないから	7		36.8%
7. 品質・有効性・安全性に不安があるから	9		47.4%
8. その他(自由意見記述欄あり)	3		15.8%
総計	30		-



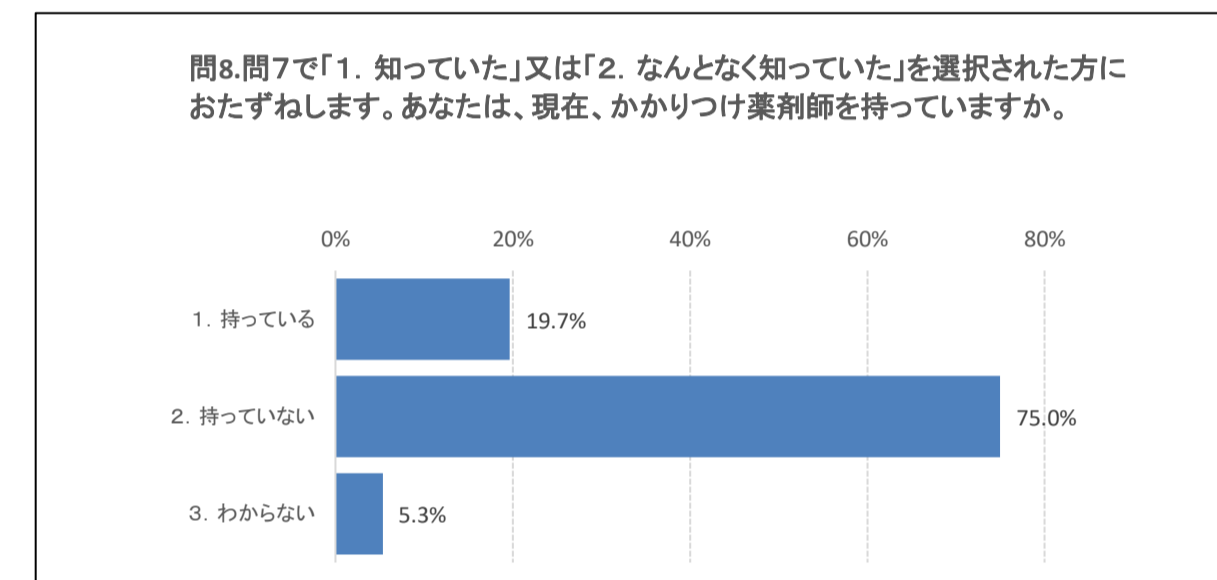
問6.問1で「2. ない」を選択された方におたずねします。ジェネリック医薬品を使用してもいいと思えるのはどのような場合ですか。(あてはまるものを3つまで)	回答数	回答対象者	比率
1. 医師から勧められれば使用してもいい	9	19	47.4%
2. 薬剤師から勧められれば使用してもいい	6		31.6%
3. 病院(診療所)で取り扱っていたら使用してもいい	4		21.1%
4. 調剤薬局で取り扱っていたら使用してもいい	0		0.0%
5. 薬代が安くなれば使用してもいい	3		15.8%
6. 品質・有効性・安全性が保証されていれば使用してもいい	11		57.9%
7. 飲みやすい、使用しやすい等のメリットがあれば使用してもいい	2		10.5%
8. その他(自由意見記述欄あり)	1		5.3%
総計	36		-



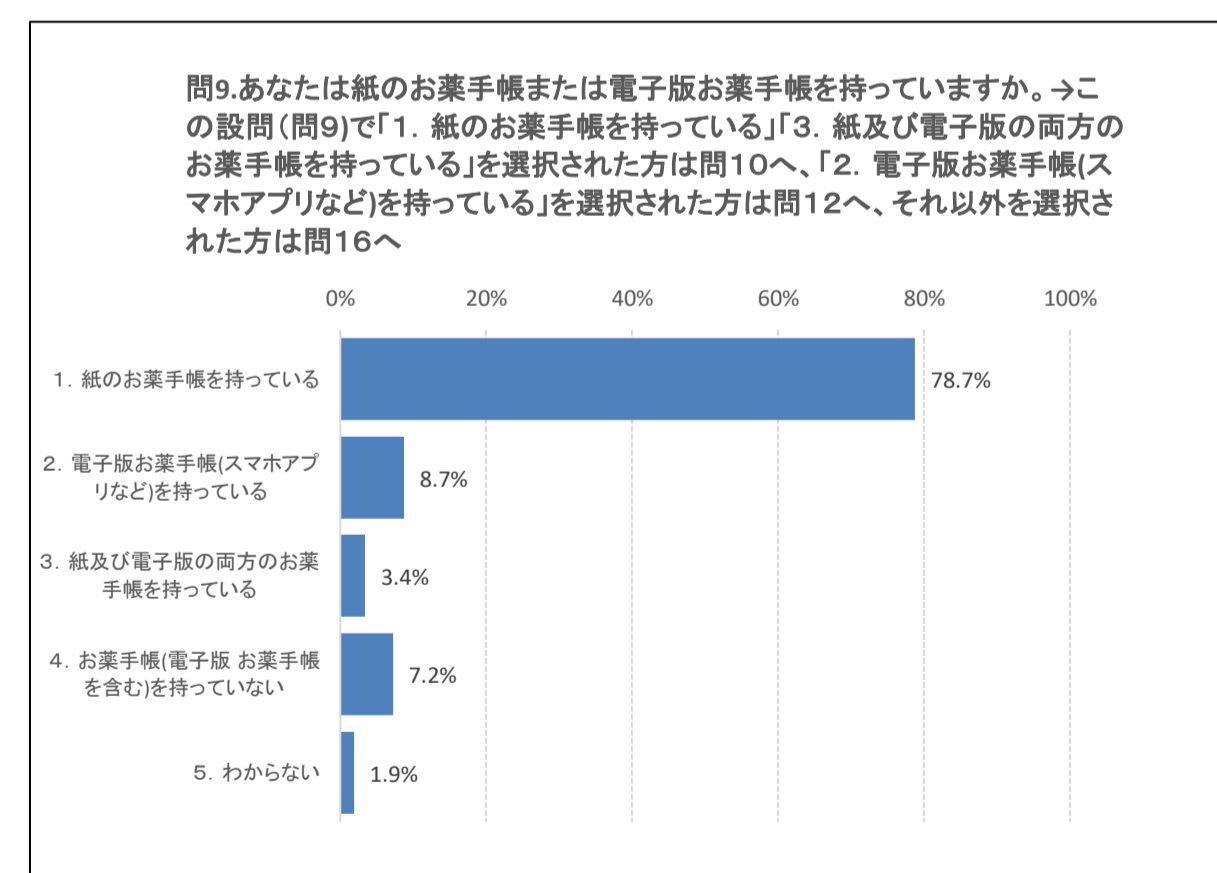
問7.かかりつけ薬剤師※とは何か知っていますか。※かかりつけ薬剤師とは、いつも同じ薬剤師が患者さんの服薬状況や体調の変化を一元的・継続的に支援します。かかりつけ薬剤師を持つためには、患者さん本人が薬剤師を指名して同意書に署名する必要があります。なお、かかりつけ薬剤師指導料という費用が発生します。→この設問(問7)で「1. 知っていた」又は「2. なんとなく知っていた」を選択された方は問8へ、「3. 知らなかった」を選択された方は問9へ	回答数	回答対象者	比率
1. 知っていた	90	263	34.2%
2. なんとなく知っていた	98		37.3%
3. 知らなかった	75		28.5%
総計	263		100.0%



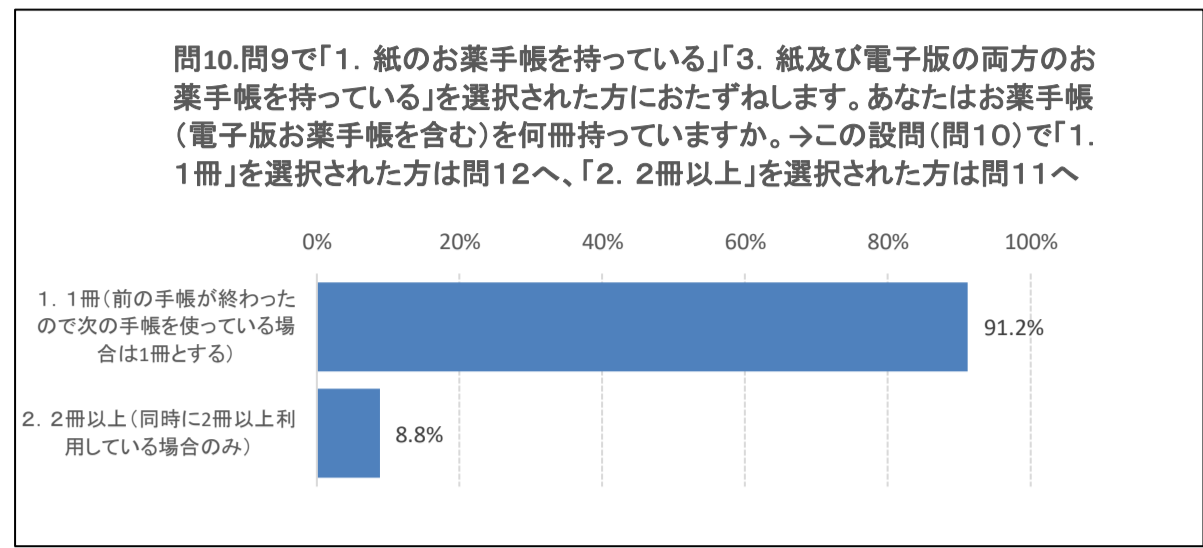
問8.問7で「1. 知っていた」又は「2. なんとなく知っていた」を選択された方におたずねします。あなたは、現在、かかりつけ薬剤師を持っていますか。	回答数	回答対象者	比率
1. 持っている	37	188	19.7%
2. 持っていない	141		75.0%
3. わからない	10		5.3%
総計	188		100.0%



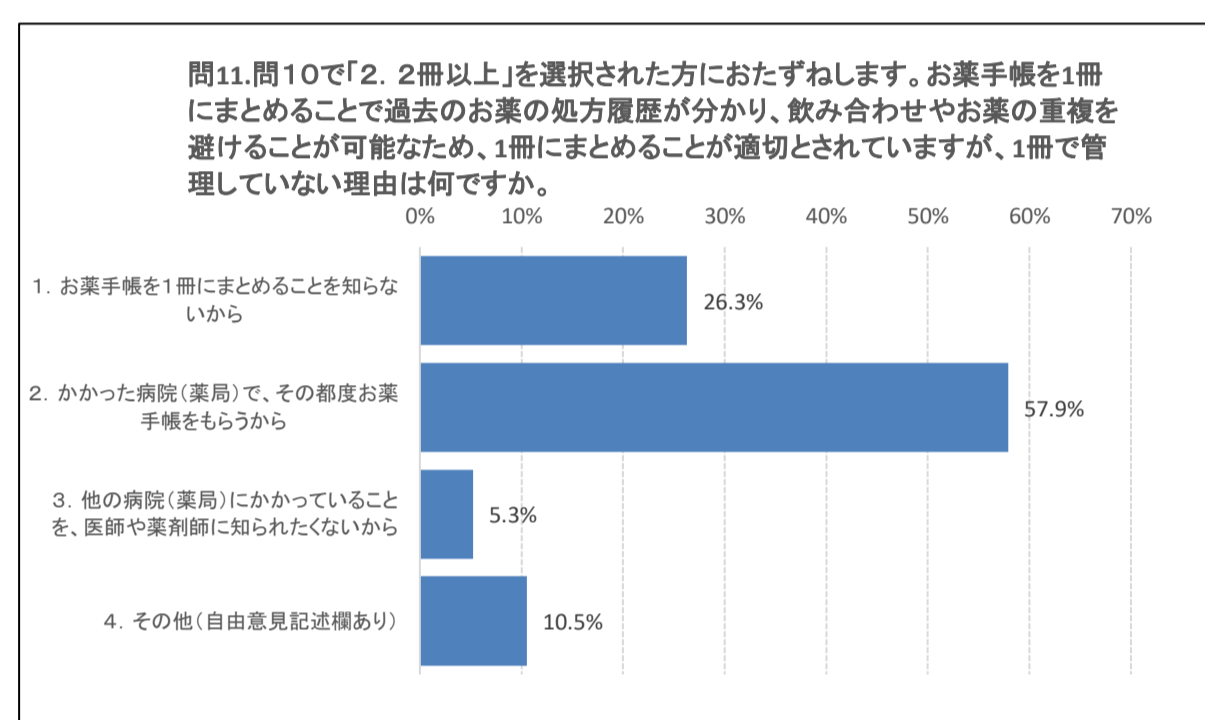
問9.あなたは紙のお薬手帳または電子版お薬手帳を持っていますか。→この設問(問9)で「1. 紙のお薬手帳を持っている」「3. 紙及び電子版の両方のお薬手帳を持っている」を選択された方は問10へ、「2. 電子版お薬手帳(スマホアプリなど)を持っている」を選択された方は問12へ、それ以外を選択された方は問16へ	回答数	回答対象者	比率
1. 紙のお薬手帳を持っている	207	263	78.7%
2. 電子版お薬手帳(スマホアプリなど)を持っている	23		8.7%
3. 紙及び電子版の両方のお薬手帳を持っている	9		3.4%
4. お薬手帳(電子版 お薬手帳を含む)を持っていない	19		7.2%
5. わからない	5		1.9%
総計	263		100.0%



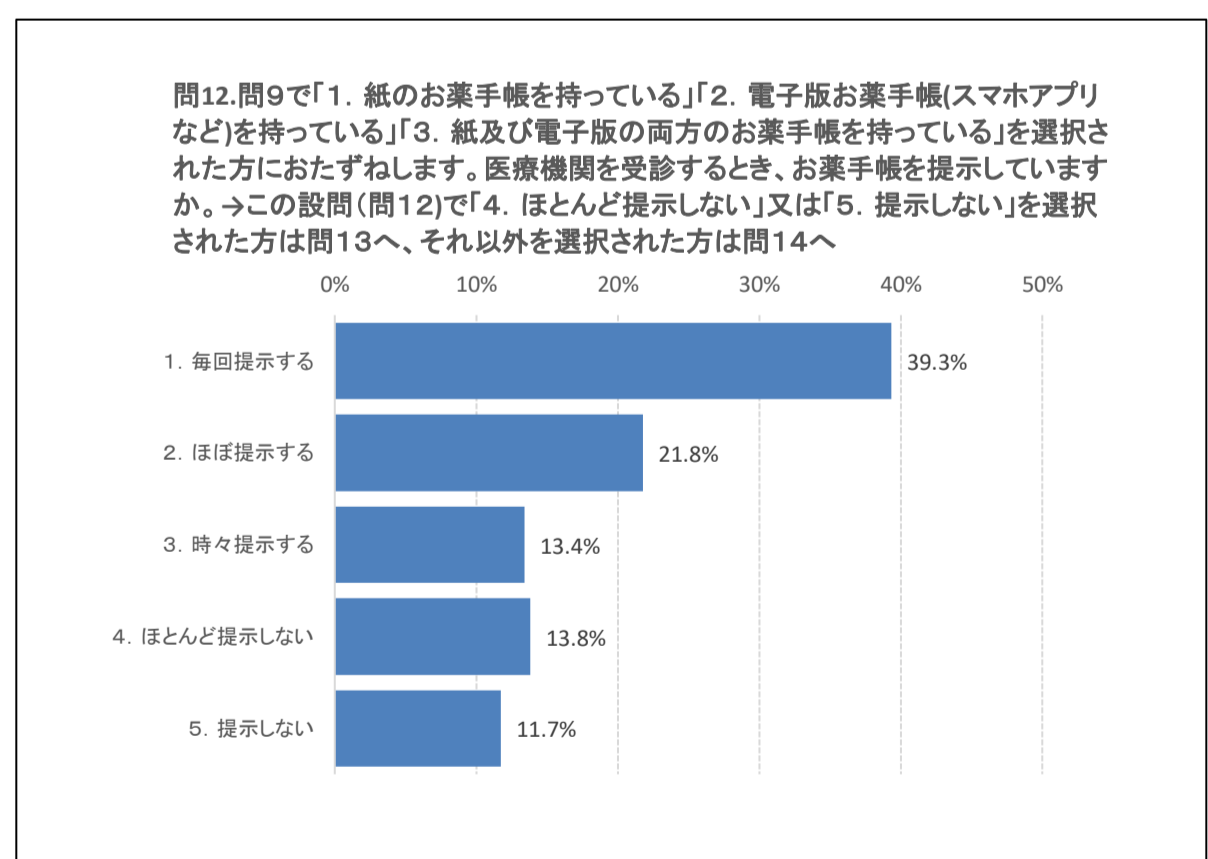
問10.問9で「1. 紙のお薬手帳を持っている」「3. 紙及び電子版の両方のお薬手帳を持っている」を選択された方におたずねします。あなたはお薬手帳(電子版お薬手帳を含む)を何冊持っていますか。→この設問(問10)で「1. 1冊」を選択された方は問12へ、「2. 2冊以上」を選択された方は問11へ	回答数	回答対象者	比率
1. 1冊(前の手帳が終わったので次の手帳を使っている場合は1冊とする)	197	216	91.2%
2. 2冊以上(同時に2冊以上利用している場合のみ)	19		8.8%
総計	216		100.0%



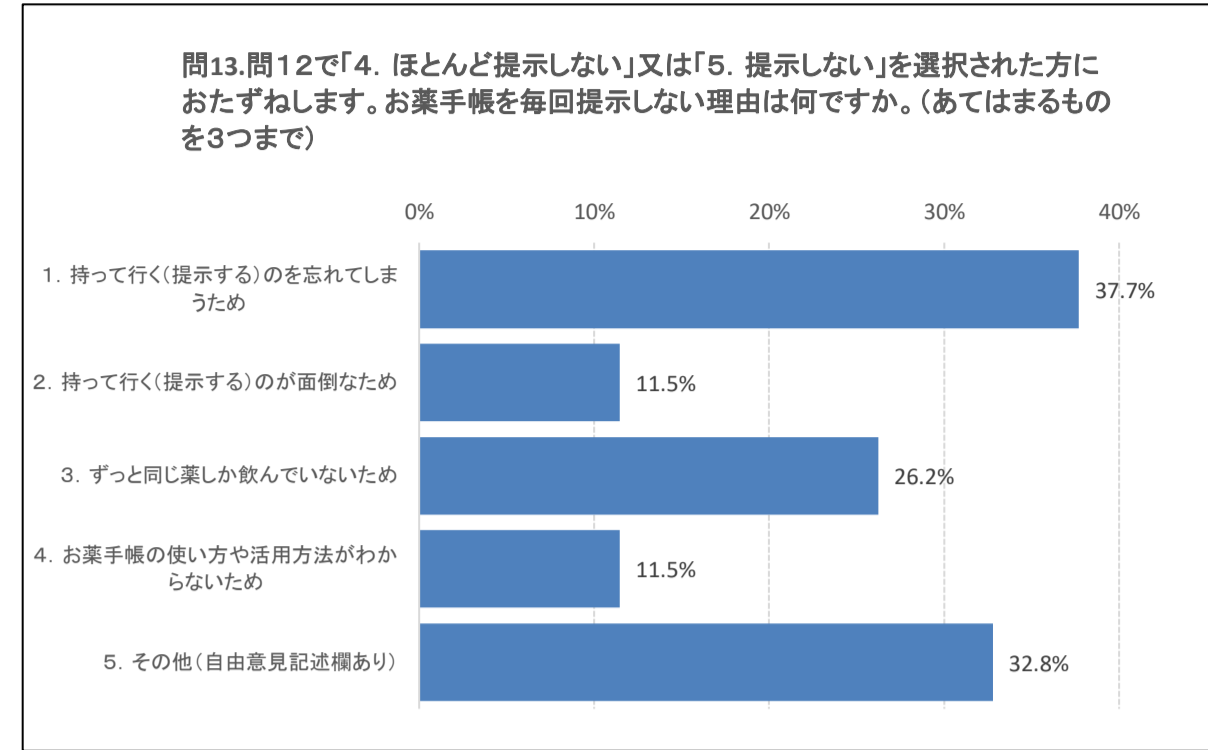
問11.問10で「2. 2冊以上」を選択された方におたずねします。お薬手帳を1冊にまとめることで過去のお薬の処方履歴が分かり、飲み合わせやお薬の重複を避けることが可能なため、1冊にまとめることが適切とされていますが、1冊で管理していない理由は何ですか。	回答数	回答対象者	比率
1. お薬手帳を1冊にまとめることを知らないから	5	19	26.3%
2. かった病院(薬局)で、その都度お薬手帳をもらうから	11		57.9%
3. 他の病院(薬局)にかかっていることを、医師や薬剤師に知られたくないから	1		5.3%
4. その他(自由意見記述欄あり)	2		10.5%
総計	19		100.0%



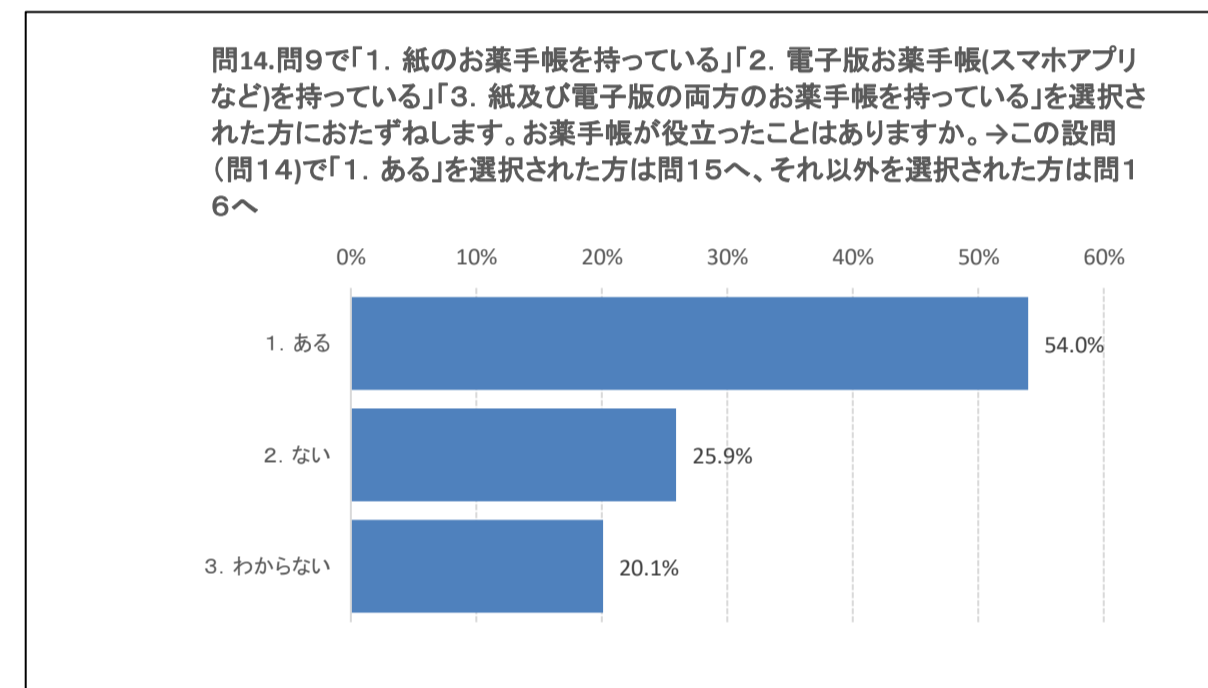
問12.問9で「1. 紙のお薬手帳を持っている」「2. 電子版お薬手帳(スマホアプリなど)を持っている」「3. 紙及び電子版の両方のお薬手帳を持っている」を選択された方におたずねします。医療機関を受診するとき、お薬手帳を提示していますか。→この設問(問12)で「4. ほとんど提示しない」又は「5. 提示しない」を選択された方は問13へ、それ以外を選択された方は問14へ	回答数	回答対象者	比率
1. 毎回提示する	94	239	39.3%
2. ほぼ提示する	52		21.8%
3. 時々提示する	32		13.4%
4. ほとんど提示しない	33		13.8%
5. 提示しない	28		11.7%
総計	239		100.0%



問13.問12で「4. ほとんど提示しない」又は「5. 提示しない」を選択された方におたずねします。お薬手帳を毎回提示しない理由は何ですか。(あてはまるものを3つまで)	回答数	回答対象者	比率
1. 持って行く(提示する)のを忘れてしまうため	23	61	37.7%
2. 持って行く(提示する)のが面倒なため	7		11.5%
3. ずっと同じ薬しか飲んでいないため	16		26.2%
4. お薬手帳の使い方や活用方法がわからないため	7		11.5%
5. その他(自由意見記述欄あり)	20		32.8%
総計	73		-



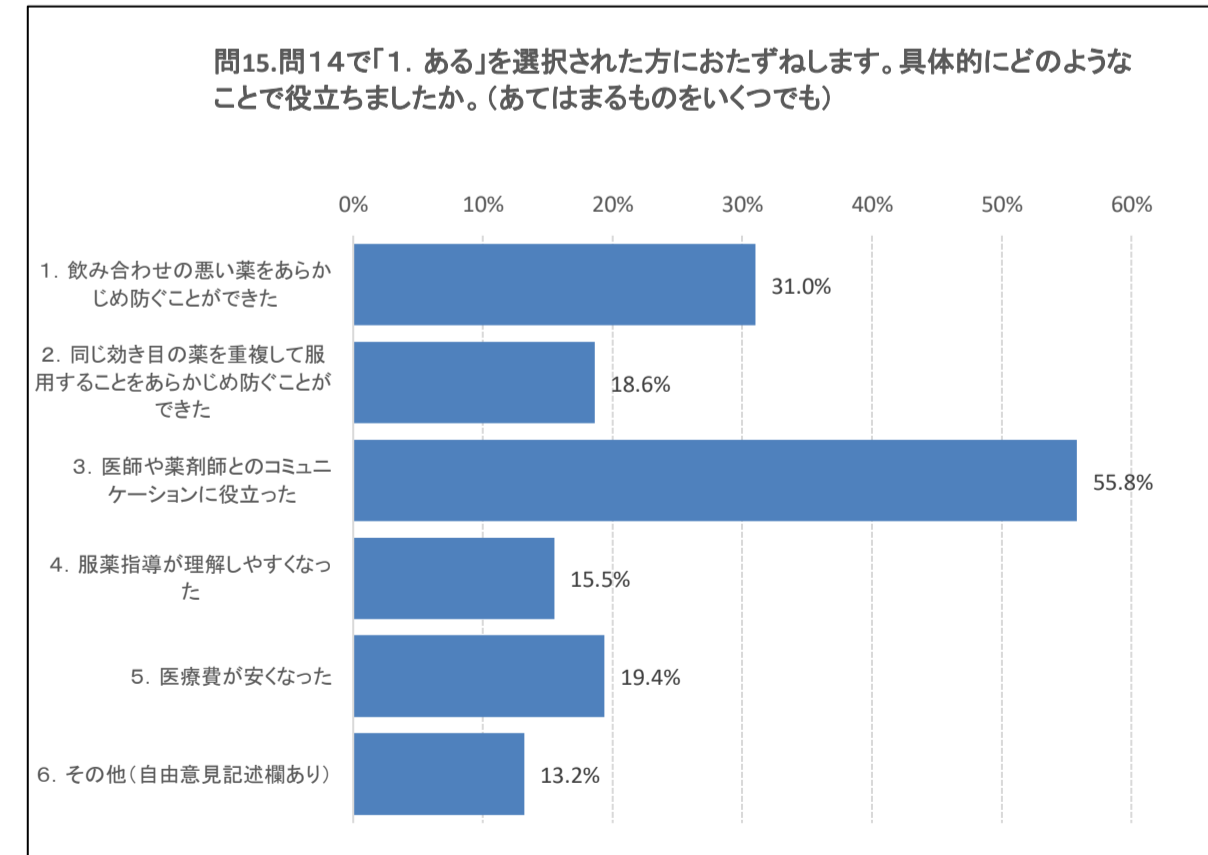
問14.問9で「1. 紙のお薬手帳を持っている」「2. 電子版お薬手帳(スマホアプリなど)を持っている」「3. 紙及び電子版の両方のお薬手帳を持っている」を選択された方におたずねします。お薬手帳が役立ったことはありますか。→この設問(問14)で「1. ある」を選択された方は問15へ、それ以外を選択された方は問16へ	回答数	回答対象者	比率
1. ある	129	239	54.0%
2. ない	62		25.9%
3. わからない	48		20.1%
総計	239		100.0%



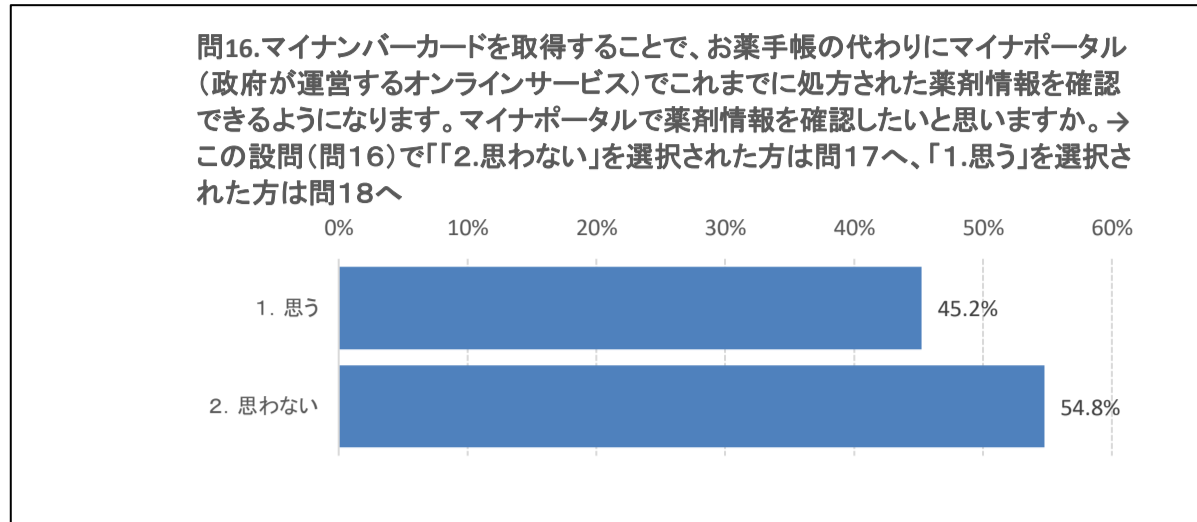
問15.問14で「1. ある」を選択された方におたずねします。具体的にどのようなことで役立ちましたか。(あてはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
1. 飲み合わせの悪い薬をあらかじめ防ぐことができた	40	129	31.0%
2. 同じ効き目の薬を重複して服用することをあらかじめ防ぐことができた	24		18.6%
3. 医師や薬剤師とのコミュニケーションに役立った	72		55.8%
4. 服薬指導が理解しやすくなった	20		15.5%
5. 医療費が安くなった	25		19.4%
6. その他(自由意見記述欄あり)	17		13.2%
総計	198		-

その他(自由意見記述欄) 一部抜粋

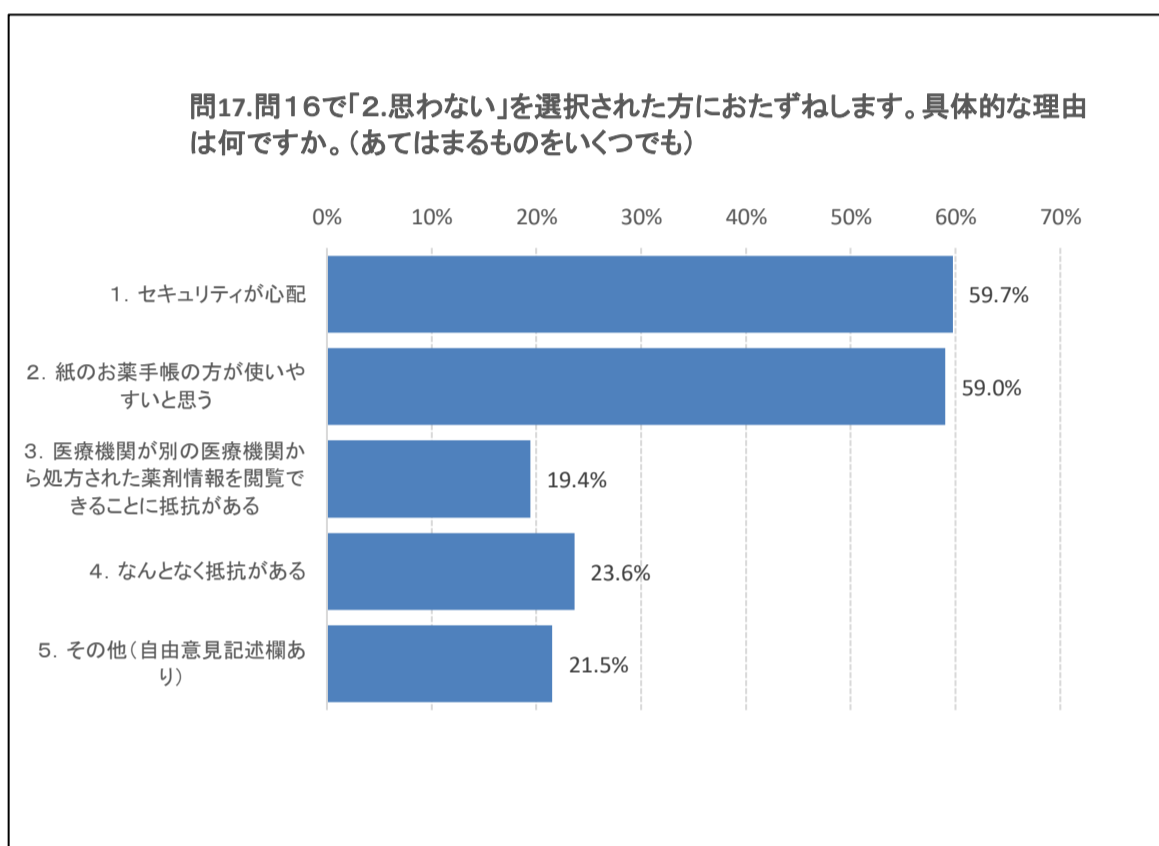
毎回違う薬剤師が担当しているので、過去のデータを聞かれたときに手帳を見せることで一目瞭然と理解してもらえる。



問16.マイナンバーカードを取得することで、お薬手帳の代わりにマイナポータル(政府が運営するオンラインサービス)でこれまでに処方された薬剤情報を確認できるようになります。マイナポータルで薬剤情報を確認したいと思いますか。→この設問(問16)で「2.思わない」を選択された方は問17へ、「1.思う」を選択された方は問18へ	回答数	回答対象者	比率
1. 思う	119	263	45.2%
2. 思わない	144		54.8%
総計	263		100.0%



問17.問16で「2.思わない」を選択された方におたずねします。具体的な理由は何か。(あてはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
1. セキュリティが心配	86	144	59.7%
2. 紙のお薬手帳の方が使いやすいと思う	85		59.0%
3. 医療機関が別の医療機関から処方された薬剤情報を閲覧できることに抵抗がある	28		19.4%
4. なんとなく抵抗がある	34		23.6%
5. その他(自由意見記述欄あり)	31		21.5%
総計	264		-



問18.その他医薬品の服用に関してご意見があればお書きください。(任意回答)	回答数	回答対象者	比率
(回答者)	45	263	17.1%
総計	45		17.1%

その他(自由意見記述欄) 一部抜粋

合わなかったお薬をもう一度何処かで利用できることはできないのかとも思います もう少しお薬を大事に扱えないか無駄をなくせないかと悩みます 国の医療費がかかりすぎるのが心配です

お薬情報をバラバラのアプリや紙でなくマイナーポータルで薬剤情報を確認したい。

薬を受け取る際、名前などを教えてもらえますが、もう少し薬の効用、注意点など詳しい情報をポイントを教えていただくと助かります。確かに説明書は同封されますが、病気のときは、あまり注意深く読み切れない場合があるとか、非健常者には、読まれない場合があります。QRコードで、わかりやすい説明があるとか、音声説明があるとかのサービスがあれば助かると思います。高齢者は、一方的に薬を与えられますが、理解できず服用して、副作用などが発生する危険性があります。

せっかく、マイナンバー制のシステムを構築されているので、薬などの連携が必要と考えます。このように、意見を収集され、反映されていくのが患者に寄り添うことにつながると思います。